

資産売却「望ましくない」

徴用工訴訟 韓国大統領初の否定的考え

【ソウル時事】韓国の文在寅大統領は18日、大統領府で新年の記者会見を開いた。文氏は元徴用工訴訟に関し、日本企業の韓国内資産の売却を通じた「現金化」について「日韓関係に望ましいとは思わない」と語ったほか、日本政府に元慰安婦への賠償を命じた8日の地裁判決に「困惑した」と説明。日本との協議を通じて解決策を模索する考えを明らかにした。

慰安婦賠償判決「困惑した」

司法介入を控える発言を、題解決に向けた具体策は言及せず、関係改善への道筋



たのは初めて。ただ、「韓国側が国際法違反を是正する必要がある」との立場の日本に対し、文氏は「原告の同意」を条件に掲げて問

18日、ソウルの韓国大統領府で文在寅大統領（左）と記者会見（共同）

日本政府 反応冷ややか

韓国の文在寅大統領が、元徴用工訴訟で被告となった日本企業の韓国内資産の現金化に否定的な見解を示したことについて、日本政府は「韓国側が解決策を示さない限り、状況は何も変わらない」（外務省幹部）と冷静に受け止めている。文氏の実行力に懐疑的な見方も強く、今後の対応を慎重に見極める方針だ。文氏は18日の記者会見で、現金化は「日韓関係に

は依然不透明なままだ。文氏は会見で対日関係をめぐり、「全ての問題を互いに連携させ、問題解決ま

（5面に関連記事）

では他の分野の協力も止めるという態度は決して賢明ではない」と主張。日本政府による輸出管理の厳格化措置を念頭に、歴史問題と経済や安全保障分野での協力推進は切り離すべきだとする従来の考えを繰り返した。

その上で、既に差し押さえられた日本企業の資産の売却前に「外交的解決を探ることが優先だ」と強調。「原告が同意可能な方法」を日韓が協議し、「韓国政府がその案を持つて原告を最大限説得することで問題を少しずつ解決できると信

おいて望ましいとは思わない」と発言。司法への介入は控えるとしてきた従来の立場から踏み込んだ。しかし、日本側の不信感には根強い。文氏の発言が伝わり、外務省幹部は「真意が分からない」と論評を避け、別の幹部も「現金化をやめろ」と言ったわけではなく、介入回避の方針は実質的に変わっていない」と分析。首相官邸幹部は「大事なのは行動で示す

じている」と語った。一方、慰安婦問題に関しては2015年末の日韓合意が「政府間の公式合意だったという事実」を確認しつつも、元慰安婦らが「同意可能な解決策」に向け、日韓間で協議する意向を表明した。

ただ、元慰安婦への賠償を命じた判決をめぐり、日本政府は韓国側に強く抗議し、是正措置を求めている。日本側は1965年の日韓請求権協定や日韓合意で解決済みという立場で、協議を求めた文大統領への不信を一層深めそうだ。

ことだ」と冷やかに語った。坂井学官房副長官は会見で「発言に留意する」としつつ、「韓国側の実際の行動を注視したい」とくぎを刺した。文氏は、日本政府に元慰安婦への賠償を命じた8日のソウル中央地裁判決にも「少し困惑した」と述べたが、外務省幹部は「困惑しているのはこちらだ」と苦笑交じりに反論した。

未来へ | 神戸新聞 1月19日分

積み重ねたものを簡単に取り去ることはできないが、一社会、一つの世界の中でどう成熟していくべきなのか、今度こそ手の平返しになることのない、未来への第一歩としてもらいたいものですね。